2025年度事業計画の概要 (小規模事業経営支援事業費補助金)

団体名: 半田商工会議所

車 类 夕	市娄瓶西 / 北县,日始)	事業計画	主たる		事業	評	価	備考	
事業名	事業概要(背景・目的)		対象者		目 標①		目 標②	- 偏考	
巡回·窓口相談指導事 業	小規模事業者の創業・経営革新へ積極的な支援・促進を実施すべく、窓口での相談指導や巡回相談指導により各事業所に対し伴走型支援を行う。		小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数	指標	課題解決提案件数		
				目標数値	2000 実績 数値	目標数値	50 実績 数値	0	
記帳継続指導	個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者 の経営改善に資することを目指し、記帳から決算申告に至 る一貫した記帳継続指導を行う。また、希望される全案件 を電子申告対応としていく。	・指導延日数 550日	小規模事業者	指標	指導事業所数	指標	指導延回数		
				目標数値	54 実績 数値	目標 数値	850 実績 数値		
講習会等	小規模事業者の経営知識の普及と経営の安定を図るため、 集団講習会を開催する。個別講習会では、専門家による課 題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。	・集団指導 「I推進セミナー、簿記初級講座、補助金説明会等の経営講習会 計10回 年間受講者数100人(内経営革新1回・10人) ・個別指導 金融・税務・下請・経営・企業再生・労務・法律・情報・ 特許・登記・IT相談 計52回・年間受講者数 60人	小規模事業者	指標	集団指導年間受講者数	指標	個別指導年間受講者数		
				目標数値	100	目標数値	60 実績 数値		
創業支援	創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、 創業計画策定を支援することで、事業者のスムーズな開業 を促し、地域経済の活発化と雇用の維持を図る。	産業競争力強化法に係る創業支援事業の実施 ・創業窓口相談(巡回相談合む) 延べ件数60件 ・起業家支援セミナー開催 4日間×3時間 受講者数 20人 ・ハンズオン支援 2件	創業希望者及 び創業後5年以 内の小規模事 業者	指標	創業相談延べ件数	指標	起業家支援セミナー受講者 数		
				目標数値	60 実績 数値	目標数値	20 実績数値	0	
	青年部では、若手経営者・後継者・幹部職員等が、研修や 商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社	【青年部】会員参加率 50% ・総会3回(4月、5月、10月)		指標	青年部会員参加率	指標	女性会会員参加率		
青年部・女性会事業	会の繁栄に貢献する。また、これらの事業を通じ、会員相 互の連携と人脈作りに繋げる。 女性会では、会員の資質向上・交流を図るとともに、街の 活性化や自社の発展に積極的に取り組む。	・役員会12回 (毎月) ・その他事業開催 【女性会】会員参加率 50% ・総会1回 (4月) ・役員会12回 (毎月) ・その他事業開催	小規模事業者 等における若 手経営者 継者等)並び に女性経営者	目標数値		目標数値	50 実績数値		
若手後継者等育成事業 (国際視察研修会)	先進地視察と講演会を通じて得た情報を自社業にフィードバックすること、新たな人脈を築くことで、自社企業の発展、地域活性化にも広がるものとなり、今後の青年部活動も実りあるものとする。 また、青年部指針でもある国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めるに寄与する事業とする。	・日程 1月17日 (土) 、18日 (日) (予定) ・場所 韓国 ・講師 パク氏、チョウ氏 (現地経営者)	会員事業所の 若手経営者・ 後継者・幹部 職員	指標	青年部会員参加者数	指標	アンケート調査結果		
				目標数値		目標数値	70 実績 数値		
	昨今、生成AIは社会へ浸透し、あらゆる企業活動の領域で活用が広がっている。今後生成AIの活用は不可欠になる	生成AI研修会 ・日程 6月 (予定)		指標	青年部会員参加者数	指標	アンケート調査結果		
若手後継者等育成事業 (生成AI研修会)	16 2 四基噻啶 12 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	・ 日 (4 の) (アル) (アル) ・ 参加者数 半田商工会議所青年部会員100名 ・ 場所 半田商工会議所ならびにアイプラザ半田 ・ 講師 茂木 智広 氏 (㈱エレメントシステム 代表取締役) ・ 会員アンケート調査結果 70% (満足度)	会員事業所の 若手経営者・ 後継者・幹部 職員	目標数値	100	目標数値	70 実績 数値		

事業名	事業概要(背景・目的)	事業計画	主たる		事 業 評 価			備考
7.4.1			対象者	_	目標①	ļ,	目標②	L, cui
若手後継者等育成事業 (全国大会・セミ ナー)	全国の女性会との交流を図り、事業の意見交換等を行うことで当会事業の今後の運営方法と実施事業の参考とする。また自己研鑚の場としても学ぶ機会とする。事業所の付加価値が求められる時代となり、当会会員事業所もその必要性を感じている。自社の事業を維持・発展させるとともに、地域貢献を通じて事業所の付加価値を高める方法を学ぶ。	【全国大会】 ・日程: 令和7年10月10日(金) ・開催地: 東京都 (ホテルニューオータニ) ・参加予定人数: 3名 ・アンケート調査結果 80%(満足度) 【付加価値向上セミナー】 ・令和7年度中 ・テーマ 自社事業の維持・発展のために ・参加対象 半田商工会議所で性会会員 一般会員 ・目標事業参加者数 15人 ・アンケート調査結果 80%(満足度)	女性会会員	指標 目標値	全国大会・セミナー参加者 アンケート調査結果 80 実績 数値	指標目標値	セミナー参加者数 15 実績 数値	
商店街・街づくり事業	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなっている。そこで、商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、㈱はんだ賑わいビル開発、㈱トロワ・アバンセの7団体が中心となり賑わい創出をし、まちづくりと市内商店街・中心市街地の活性化を推進する。	・半田市中心市街地商業活性化にぎわい事業・はんだ商業まつり事業の実施 ・半田市商業施設助成事業 (不足業種誘致、新規創業者の推進含む)利用数 10事業所・にぎわい事業参加店舗数 80店舗	中小・小規模 事業者	指標 目標 数値	半田市商業施設助成事業 利用数 10 実績 数値	指標 目標 数値	にぎわい事業 参加店舗数 80 実績 数値	
	「醸造業」と「醸造文化」に着目した取り組み「with-	・with Chita-Shu事業 参加事業所数 11事業所		指標	事業参加事業所数	指標		
観光振興・醸すブラン ド化事業	Chita-Shu事業」により、賑わいの創出と販売拡大を促し、小規模事業者の振興と経営安定を図る。		中小・小規模 事業者	目標 数値	実績 数値	目標 数値	実績数値	
商談会・ビジネスマッ チング事業	展示会や商談会により、市内事業者の販路拡大を図る。当地域で開催される大規模展示会に積極的に出展し、中小・小規模事業者に全国規模の新たなマーケットへのPR、出会いに繋げ販路開拓に寄与する。	 ・アライアンスパートナー事業(7月) 商談確定件数 20件 ・FOOD STYLE(10月) 出展事業所数 10事業所 ・メッセナゴヤ2025(11月~12月) 出展事業所数 3事業所 ・三河・知多地域商談会(2月) 商談参加数 4事業所 	中小・小規模 事業者	指標目標值	アライアンスパートナー 事業商談確定件数 20 実績 数値	指標 目標 数値	FOOD STYLE 出展事業所数 10 実績 数値	0
部会・委員会事業	企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所の発展に寄 与する。部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業 所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果 が見込まれる。	・部会、委員会の会議・事業開催 年55回	中小・小規模 事業者	指標 目標 数値	会議・事業実施回数 55 実績 数値	指標 目標 数値	実績数値	
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、 地域社会に貢献する。	検定試験の開催 ・珠算3回、簿記リアル3回、簿記ネット随時、リテールマーケティ ング (ネット) 随時 ・検定受験者数 1,500人 ※ネット受験者を含む	中小企業従業員や一般市民	指標 目標 数値	検定受験者数 1500 実績 数値	指標 目標 数値	実績数値	
福利厚生事業		・毎年実施している「あおぞら共済加入促進キャンペーン」を中心 に、1年間の共済新規加入者数:120人	中小・小規模 事業者	指標	あおぞら共済新規加入者数	指標		
				目標数値	120 実績数値	目標数値	実績数値	
労働保険事業 (労働保険事務組合)	事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。		中小・小規模 事業者	指標	委託事業場数	指標	' '	
				目標数値	275 実 績 数値	目標 数値	実績数値	
産業団体等指導事業	小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を 通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。	半田市商店街連合会・日東会の運営指導 ・各種団体の会議及び事業等 25回	各種団体の 会員	指標 目標 数値	会議·事業実施回数 実績 数値	指標 目標 数値	実績数値	
調査・広報事業	経営状況を取り巻く変化に対応するため、地域の動向・情報を円滑に提供する。会報誌『カイギショゲッポウ』、メールマガジン、公式LINE等による情報発信により、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	・景気動向実態調査 調査先 60事業所 ・中小・小規模事業者の振興に資する広報誌 (月刊) の発行 ・インターネットやSNSを活用した情報提供 公式LINEアカウント友だち登録数 300人	中小・小規模 事業者	指標目標值	景気動向実態調査 調査事業所数 60 実績 数値	指標 目標 数値	公式LINEアカウント 友だち登録数 300 実績 数値	0
14/ 40 1 Va	料け タヨはにわいて敷借しています				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

[※]記載内容についての資料は、各団体において整備しています。

[※]備考欄の○は経営発達支援事業として認定を受けた事業です。